

アート分野 絵画コース

科目名の後の（ ）は修得できる単位数 ／＊必修科目 #選択必修科目

		1年	2年	3年	4年
基礎 教育 科目 （36 単位）	学習基礎 （4単位以上）	大学入門セミナー(2) ※1 日本語表現 I（＊2） キャリアデザインA(2) など／4単位以上	キャリアデザインB(2) 文章表現方A(2) など ／合計4単位以上	キャリアデザインC(2) ／合計2単位以上	
	芸術・デザイン （4単位以上）	デザイン史(2)，西洋美術史(2)， 色とかたち(2) など ／4単位以上	アート・マネジメント(2) など ／4単位以上	芸術・デザインの単位数が4以上、基礎教育科目の合計が36単位以上になるよう履修	
	歴史・文化・社会 （4単位以上）	文化人類学(2)，日本の歴史(2) など ／2単位以上	2単位以上	歴史・文化・社会の単位数が4以上、基礎教育科目の合計が36単位以上になるよう履修	
	科学・身体 （4単位以上）	身体表現論(2)，生物とデザイン(2) 形の科学(2)など ／4単位以上	2単位以上	科学・身体の単位数が4以上、基礎教育科目の合計が36単位以上になるよう履修	
	外国語 （5単位以上）	基礎英語 I（＊1） 英語コミュニケーションA(2) など ／3単位以上	3単位以上	外国語の単位数が5以上、基礎教育科目の合計が36単位以上になるよう履修	
基礎教育科目に関しては、上記の履修科目例を参考にしながら単位数の合計が36を上回るように履修してください。					
専門 教育 科目 （88 単位）	芸術工学基礎 （20単位）	芸術工学概論(＃2)，デッサン基礎実習(2) 工芸基礎実習(2)，絵画基礎実習(2) コンピュータ基礎実習(2) 彫刻基礎実習(2) など／12単位以上	現代美術(＃2) 写真史・映画史(＃2) 自然とデザイン(＃2) など ／6単位以上	芸術工学基礎の単位数が20以上、 尚且つ※2の条件を満たすよう履修	
	必修 （8単位）	アート・クラフト概論(＊2) スケッチ・素描・イメージ(＊2) 美術基礎実習(＊2) クラフト基礎実習(＊2) ／8単位			
	選択必修 （24単位）	美術実習A(＃2) ／2単位	美術実習B(＃2) 絵画演習A(＃4) ／6単位	絵画演習B(＃6)，絵画演習C(＃6) ／12単位	美術特別演習(＃4) ／4単位
	選択 （26単位）	作品の見方(2)，彫刻基礎(2) ドローイング(4) ／8単位以上	日本画技法(2)，版画表現(4)，工芸史(2) 模型・フィギュア造形論(2) 美術工芸教育論(2) など／10単位以上	メディア演習(4)，釉薬技法演習(2) ステンドグラス演習(2) など ／8単位以上	
	卒業研究 （10単位）				卒業研究（＊10） ／10単位
専門教育科目に関しては、上記の履修科目例を参考にしながら単位数の合計が88を上回るように履修してください。					

※ 履修モデルはあくまで目安です。これを参考にして、自分自身のペースで4年間の学習計画を立ててください。

※1 大学入門セミナーは必修ではありませんが、できるだけ履修してください。

※2 芸術工学基礎区分は、「芸術工学概論」「環境デザインとはⅠ」「ユニバーサルデザイン」「自然とデザイン」「図像学演習」「アニメ史」「写真史・映画史」「ファッションデザイン概論」「現代美術」のいずれか4単位必修です。

※3 メディア演習は選択科目ですが、卒業研究発表時に提出を必要とする「ポートフォリオ」を作成する授業ですので、できるだけ履修してください。

◎上記モデルにおける各学年ごとの履修単位数一覧

卒業に必要な単位		1年		2年	3年	4年	計
		前期	後期				
基礎教育科目(36)		9	8	15	4	—	36
専門 教育 科目	芸術工学基礎(20)	4	8	6	2	—	20
	必修(8)	6	2	—	—	—	8
	選択必修(24)	—	2	6	12	4	24
	選択(26)	4	4	10	8	—	26
	卒業研究(10)	—	—	—	—	10 ※4	10
合計		23	24	37	26	14	124
		47					

※4 「卒業研究」は、3年次修了時点で卒業要件単位数の合計が90単位以上であることが着手条件であり、単位がそれに満たない場合は履修できません。

アート分野 フィギュア・彫刻コース

科目名の後の（ ）は修得できる単位数 / * 必修科目 # 選択必修科目

		1年	2年	3年	4年
基礎 教育 科目 (36 単位)	学習基礎 (4単位以上)	大学入門セミナー(2) ※1 日本語表現Ⅰ(*2) キャリアデザインA(2) など/4単位以上	キャリアデザインB(2) 文章表現方A(2) など /合計4単位以上	キャリアデザインC(2) /合計2単位以上	
	芸術・デザイン (4単位以上)	デザイン史(2), 西洋美術史(2), 色とかたち(2) など /4単位以上	アート・マネジメント(2) など /4単位以上	芸術・デザインの単位数が4以上、基礎 教育科目の合計が36単位以上になる よう履修	
	歴史・文化・社会 (4単位以上)	文化人類学(2), 日本の歴史(2) など /2単位以上	2単位以上	歴史・文化・社会の単位数が4以上、基礎 教育科目の合計が36単位以上になる よう履修	
	科学・身体 (4単位以上)	身体表現論(2), 生物とデザイン(2) 形の科学(2)など /4単位以上	2単位以上	科学・身体の単位数が4以上、基礎 教育科目の合計が36単位以上になる よう履修	
	外国語 (5単位以上)	基礎英語Ⅰ(*1) 英語コミュニケーションA(2) など /3単位以上	3単位以上	外国語の単位数が5以上、基礎 教育科目の合計が36単位以上になる よう履修	
基礎教育科目に関しては、上記の履修科目例を参考にしながら単位数の合計が36を上回るように履修してください。					
専門 教育 科目 (88 単位)	芸術工学基礎 (20単位)	芸術工学概論(#2), デッサン基礎実習 (2) 工芸基礎実習(2), 絵画基礎実習(2) コンピュータ基礎実習(2) 彫刻基礎実習(2) など/12単位以上	現代美術(#2) 写真史・映画史(#2) 自然とデザイン(#2) など /6単位以上	芸術工学基礎の単位数が20以上、 尚且つ※2の条件を満たすよう履修	
	必修 (8単位)	アート・クラフト概論(*2) スケッチ・素描・イメージ(*2) 美術基礎実習(*2) クラフト基礎実習(*2) /8単位			
	選択必修 (24単位)	美術実習A(#2) /2単位	美術実習B(#2) フィギュア・彫刻演習A(#4) /6単位	フィギュア・彫刻演習B(#6) フィギュア・彫刻演習C(#6) /12単位	美術特別演習(#4) /4単位
	選択 (26単位)	作品の見方(2), 彫刻基礎(2) ドローイング(4) /8単位以上	フィギュア技法(2), フィギュア表現(2) 模型・フィギュア造形論(2), 工芸史(2) 美術工芸教育論(2) など/10単位以上	メディア演習(4), 釉薬技法演習(2) スタンドグラス演習(2) など /8単位以上	
	卒業研究 (10単位)				卒業研究(*10) /10単位
専門教育科目に関しては、上記の履修科目例を参考にしながら単位数の合計が88を上回るように履修してください。					

- ※ 履修モデルはあくまで目安です。これを参考に、自分自身のペースで4年間の学習計画を立ててください。
- ※1 大学入門セミナーは必修ではありませんが、できるだけ履修してください。
- ※2 芸術工学基礎区分は、「芸術工学概論」「環境デザインとはⅠ」「ユニバーサルデザイン」「自然とデザイン」「図像学演習」「アニメ史」「写真史・映画史」「ファッションデザイン概論」「現代美術」のいずれか4単位必修です。
- ※3 メディア演習は選択科目ですが、卒業研究発表時に提出を必要とする「ポートフォリオ」を作成する授業ですので、できるだけ履修してください。

◎上記モデルにおける各学年ごとの履修単位数一覧

卒業に必要な単位		1年		2年	3年	4年	計
		前期	後期				
基礎教育科目(36)		9	8	15	4	—	36
専門教育科目	芸術工学基礎(20)	4	8	6	2	—	20
	必修(8)	6	2	—	—	—	8
	選択必修(24)	—	2	6	12	4	24
	選択(26)	6	2	10	8	—	26
	卒業研究(10)	—	—	—	—	10 ※4	10
合計		25	22	37	26	14	124
		47					

※4 「卒業研究」は、3年次修了時点で卒業要件単位数の合計が90単位以上であることが着手条件であり、単位がそれに満たない場合は履修できません。

アート分野 美術教育コース

科目名の後の（ ）は修得できる単位数 / * 必修科目 # 選択必修科目

		1年	2年	3年	4年
基礎 教育 科目 (36 単位)	学習基礎 (4単位以上)	大学入門セミナー(2) ※1 日本語表現Ⅰ(*2) キャリアデザインA(2) など/4単位以上	キャリアデザインB(2) 文章表現方A(2) など /合計4単位以上	キャリアデザインC(2) /合計2単位以上	
	芸術・デザイン (4単位以上)	デザイン史(2), 西洋美術史(2), 色とかたち(2) など /4単位以上	アート・マネジメント(2) など /4単位以上	芸術・デザインの単位数が4以上、基礎 教育科目の合計が36単位以上になる よう履修	
	歴史・文化・社会 (4単位以上)	文化人類学(2), 日本の歴史(2) など /2単位以上	2単位以上	歴史・文化・社会の単位数が4以上、基礎 教育科目の合計が36単位以上になる よう履修	
	科学・身体 (4単位以上)	身体表現論(2), 生物とデザイン(2) 形の科学(2)など /4単位以上	2単位以上	科学・身体単位数が4以上、基礎教育 科目の合計が36単位以上になるよう 履修	
	外国語 (5単位以上)	基礎英語Ⅰ(*1) 英語コミュニケーションA(2) など /3単位以上	3単位以上	外国語の単位数が5以上、基礎教育科 目の合計が36単位以上になるよう履 修	
基礎教育科目に関しては、上記の履修科目例を参考にしながら単位数の合計が36を上回るように履修してください。					
専門 教育 科目 (88 単位)	芸術工学基礎 (20単位)	芸術工学概論(#2), デッサン基礎実習 (2) 工芸基礎実習(2), 絵画基礎実習(2) コンピュータ基礎実習(2) 彫刻基礎実習(2) など/12単位以上	現代美術(#2) 写真史・映画史(#2) 自然とデザイン(#2) など /6単位以上	芸術工学基礎の単位数が20以上、 尚且つ※2の条件を満たすよう履修	
	必修 (8単位)	アート・クラフト概論(*2) スケッチ・素描・イメージ(*2) 美術基礎実習(*2) クラフト基礎実習(*2) /8単位			
	選択必修 (24単位)	美術実習A(#2) /2単位	美術実習B(#2) 美術教育演習A(#4) /6単位	美術教育演習B(#6) 美術教育演習C(#6) /12単位	美術特別演習(#4) /4単位
	選択 (26単位)	作品の見方(2), 彫刻基礎(2) ドローイング(4) /8単位以上	フィギュア技法(2), 日本画技法(2) 模型・フィギュア造形論(2), 工芸史 (2) 美術工芸教育論(2) など/10単位以 上	メディア演習(4)※3 スタンドグラス演習(2) 釉薬技法演習(2) など/8単位以上	
	卒業研究 (10単位)				卒業研究(*10) /10単位
専門教育科目に関しては、上記の履修科目例を参考にしながら単位数の合計が88を上回るように履修してください。					

- ※ 履修モデルはあくまで目安です。これを参考に、自分自身のペースで4年間の学習計画を立ててください。
- ※1 大学入門セミナーは必修ではありませんが、できるだけ履修してください。
- ※2 芸術工学基礎区分は、「芸術工学概論」「環境デザインとはⅠ」「ユニバーサルデザイン」「自然とデザイン」「図像学演習」「アニメ史」「写真史・映画史」「ファッションデザイン概論」「現代美術」のいずれか4単位必修です。
- ※3 メディア演習は選択科目ですが、卒業研究発表時に提出を必要とする「ポートフォリオ」を作成する授業ですので、できるだけ履修してください。

◎上記モデルにおける各学年ごとの履修単位数一覧

卒業に必要な単位		1年		2年	3年	4年	計
		前期	後期				
基礎教育科目(36)		9	8	15	4	—	36
専門 教育 科目	芸術工学基礎(20)	4	8	6	2	—	20
	必修(8)	6	2	—	—	—	8
	選択必修(24)	—	2	6	12	4	24
	選択(26)	6	2	10	8	—	26
	卒業研究(10)	—	—	—	—	10 ※4	10
合計		25	22	37	26	14	124
		47					

※4 「卒業研究」は、3年次修了時点で卒業要件単位数の合計が90単位以上であることが着手条件であり、単位がそれに満たない場合は履修

クラフト分野 ジュエリー・メタルワークコース

科目名の後の（ ）は修得できる単位数 ／＊必修科目 ＃選択必修科目

		1年	2年	3年	4年
基礎 教育 科目 (36 単位)	学習基礎 (4単位以上)	大学入門セミナー(2) ※1 日本語表現Ⅰ(＊2) キャリアデザインA(2) など／4単位以上	キャリアデザインB(2) 文章表現方A(2) など ／4単位以上	キャリアデザインC(2) ／2単位以上	
	芸術・デザイン (4単位以上)	デザイン史(2), 西洋美術史(2), 色とかたち(2) など ／4単位以上	アート・マネジメント(2) など ／4単位以上	芸術・デザインの単位数が4以上、基礎 教育科目の合計が36単位以上になる よう履修	
	歴史・文化・社会 (4単位以上)	文化人類学(2), 日本の歴史(2) など ／2単位以上	2単位以上	歴史・文化・社会の単位数が4以上、基礎 教育科目の合計が36単位以上になる よう履修	
	科学・身体 (4単位以上)	身体表現論(2), 生物とデザイン(2) 形の科学(2)など ／4単位以上	2単位以上	科学・身体単位数が4以上、基礎教 育科目の合計が36単位以上になるよ う履修	
	外国語 (5単位以上)	基礎英語Ⅰ(＊1) 英語コミュニケーションA(2) など ／3単位以上	ドイツ語①(2) など ／3単位以上	外国語の単位数が5以上、基礎教育科 目の合計が36単位以上になるよう履 修	
基礎教育科目に関しては、上記の履修科目例を参考にしながら単位数の合計が36を上回るように履修してください。					
専門 教育 科目 (88 単位)	芸術工学基礎 (20単位)	芸術工学概論(＃2), デッサン基礎実 習(2) 工芸基礎実習(2), 絵画基礎実習(2) コンピュータ基礎実習(2) 彫刻基礎実習(2) など／12単位以上	現代美術(＃2), 自然とデザイン(＃2) ユニバーサルデザイン(＃2) ファッションデザイン概論(＃2) など ／合計6単位以上	芸術工学基礎の単位数が20以上、尚 且つ※2の条件を満たすよう履修	
	必修 (8単位)	アート・クラフト概論(＊2) スケッチ・素描・イメージ(＊2) 美術基礎実習(＊2) クラフト基礎実習(＊2) ／8単位			
	選択必修 (24単位)	クラフト実習A(＃2) ／2単位	クラフト実習B(＃2) ジュエリー・メタルワーク演習A(＃ 4) ／6単位	ジュエリー・メタルワーク演習B(＃6) ジュエリー・メタルワーク演習C(＃6) ／12単位	クラフト特別演習②(＃4) ／4単位
	選択 (26単位)	作品の見方(2), 彫刻基礎(2) ドローイング(4) ／8単位以上	宝飾表現(2), フィギュア技法(2) 工芸史(2), 模型・フィギュア造形論(2) 美術工芸教育論(2) など／10単位以上	メディア演習(4)※3 金属造形演習(2) ジュエリー技法(2) ／8単位以上	
	卒業研究 (10単位)				卒業研究(＊10) ／10単位
専門教育科目に関しては、上記の履修科目例を参考にしながら単位数の合計が88を上回るように履修してください。					

- ※ 履修モデルはあくまで目安です。これを参考に、自分自身のペースで4年間の学習計画を立ててください。
- ※1 大学入門セミナーは必修ではありませんが、できるだけ履修してください。
- ※2 芸術工学基礎区分は、「芸術工学概論」「環境デザインとはⅠ」「ユニバーサルデザイン」「自然とデザイン」「図像学演習」「アニメ史」「写真史・映画史」「ファッションデザイン概論」「現代美術」のいずれか4単位必修です。
- ※3 メディア演習は選択科目ですが、卒業研究発表時に提出を必要とする「ポートフォリオ」を作成する授業ですので、できるだけ履修してください。

◎上記モデルにおける各学年ごとの履修単位数一覧

卒業に必要な単位		1年		2年	3年	4年	計
		前期	後期				
基礎教育科目(36)		9	8	15	4	—	36
専門 教育 科目	芸術工学基礎(20)	4	8	6	2	—	20
	必修(8)	6	2	—	—	—	8
	選択必修(24)	—	2	6	12	4	24
	選択(26)	6	2	10	8	—	26
	卒業研究(10)	—	—	—	—	10 ※4	10
合計		25	22	37	26	14	124
		47					

※4 「卒業研究」は、3年次修了時点で卒業要件単位数の合計が90単位以上であることが着手条件であり、単位がそれに満たない場合は履修できません。

クラフト分野 ガラス・陶芸コース

科目名の後の（ ）は修得できる単位数 ／＊必修科目 ＃選択必修科目

		1年	2年	3年	4年
基礎教育科目 (36単位)	学習基礎 (4単位以上)	大学入門セミナー(2) ※1 日本語表現Ⅰ(＊2) キャリアデザインA(2) など／4単位以上	キャリアデザインB(2) 文章表現方A(2) など ／合計4単位以上	キャリアデザインC(2) ／合計2単位以上	
	芸術・デザイン (4単位以上)	デザイン史(2), 西洋美術史(2), 色とかたち(2) など ／4単位以上	アート・マネジメント(2) など ／4単位以上	芸術・デザインの単位数が4以上、基礎教育科目の合計が36単位以上になるよう履修	
	歴史・文化・社会 (4単位以上)	文化人類学(2), 日本の歴史(2) など ／2単位以上	2単位以上	歴史・文化・社会の単位数が4以上、基礎教育科目の合計が36単位以上になるよう履修	
	科学・身体 (4単位以上)	身体表現論(2), 生物とデザイン(2) 形の科学(2)など ／4単位以上	2単位以上	科学・身体の単位数が4以上、基礎教育科目の合計が36単位以上になるよう履修	
	外国語 (5単位以上)	基礎英語Ⅰ(＊1) 英語コミュニケーションA(2) など ／3単位以上	3単位以上	外国語の単位数が5以上、基礎教育科目の合計が36単位以上になるよう履修	
基礎教育科目に関しては、上記の履修科目例を参考にしながら単位数の合計が36を上回るように履修してください。					
専門教育科目 (88単位)	芸術工学基礎 (20単位)	芸術工学概論(＊2), デッサン基礎実習(2) 工芸基礎実習(2), 絵画基礎実習(2) コンピュータ基礎実習(2) 基礎表現演習A(4) など／12単位以上	現代美術(＊2), 自然とデザイン(＊2) ユニバーサルデザイン(＊2) ファッションデザイン概論(＊2) など ／合計6単位以上	芸術工学基礎の単位数が20以上、 尚且つ＊2の条件を満たすよう履修	
	必修 (8単位)	アート・クラフト概論(＊2) スケッチ・素描・イメージ(＊2) 美術基礎実習(＊2) クラフト基礎実習(＊2) ／8単位			
	選択必修 (24単位)	クラフト実習A(＊2) ／2単位	クラフト実習B(＊2) ガラス・陶磁器演習A(＊4) ／6単位	ガラス・陶磁器演習B(＊6) ガラス・陶磁器演習C(＊6) ／12単位	クラフト特別演習①(＊4) ／4単位
	選択 (26単位)	作品の見方(2), 彫刻基礎(2) ドローイング(4) ／8単位以上	工芸史(2), 美術工芸教育論(2) フィギュア技法(2), 吹きガラス表現(2) 陶表現(2) など／10単位以上	メディア演習(4)＊3 スタンドグラス演習(2) 釉薬技法演習(2) ／8単位以上	
	卒業研究 (10単位)				卒業研究(＊10) ／10単位
専門教育科目に関しては、上記の履修科目例を参考にしながら単位数の合計が88を上回るように履修してください。					

- ※ 履修モデルはあくまで目安です。これを参考にして、自分自身のペースで4年間の学習計画を立ててください。
- ※1 大学入門セミナーは必修ではありませんが、できるだけ履修してください。
- ※2 芸術工学基礎区分は、「芸術工学概論」「環境デザインとはⅠ」「ユニバーサルデザイン」「自然とデザイン」「図像学演習」「アニメ史」「写真史・映画史」「ファッションデザイン概論」「現代美術」のいずれか4単位必修です。
- ※3 メディア演習は選択科目ですが、卒業研究発表時に提出を必要とする「ポートフォリオ」を作成する授業ですので、できるだけ履修してください。

◎上記モデルにおける各学年ごとの履修単位数一覧

卒業に必要な単位		1年		2年	3年	4年	計
		前期	後期				
基礎教育科目(36)		9	8	15	4	—	36
専門教育科目	芸術工学基礎(20)	4	8	6	2	—	20
	必修(8)	6	2	—	—	—	8
	選択必修(24)	—	2	6	12	4	24
	選択(26)	6	2	10	8	—	26
	卒業研究(10)	—	—	—	—	10 ※4	10
合計		25	22	37	26	14	124
		47					

※4 「卒業研究」は、3年次修了時点で卒業要件単位数の合計が90単位以上であることが着手条件であり、単位がそれに満たない場合は履修できません。